

軌道保守管理データベースシステム

[LABOCS Ver.4.2]

軌道技術研究部

軌道の各種検査データの分析・表示・管理を支援します

鉄道では、安全性、快適性の高い軌道を維持するために、軌道変位や列車動揺等の管理が重要です。鉄道総研では、軌道変位や列車動揺等の測定データと各種台帳データをチャート表示するとともに、様々な波形データの分析・加工が可能な軌道保守管理データベースシステム「LABOCS」を開発・提供しています。

【特徴】

- 軌道変位、列車動揺等の測定データのほか、曲線諸元、レール種別、構造物の位置、保守実績等の各種台帳情報をデータベースとして登録・表示できます。また、復元波形の算出等、軌道管理固有の多彩なデータ解析機能があります。
- Ver.4.2の主な新機能として、軌道検測車による動的軌道変位検測データを用いた「浮きまくらぎ検出機能」を追加しました。今後も機能向上のためのバージョンアップを実施していきます。
- 各事業者のニーズに合わせて、LABOCSをベースとした保線管理システム（LABOCS-MATE）等の開発・提供も実施しています。これによって、保線の定型業務を支援・効率化します。



LABOCSベースの保線管理システムの概要

構造物・防災

軌道

電気

車両

運輸

教育・訓練